

評価対象年度	平成21年度	<b>施策評価シート</b>	政策	8	施策	23
--------	--------	----------------	----	---	----	----

<b>施策名</b>	<b>23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興</b>	施策担当部局	教育庁、環境生活部
------------	----------------------------------	--------	-----------

「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	評価担当部局 (作成担当課室)	教育庁 (生涯学習課)
-------------------	-----	----------------------	--------------------	----------------

<b>施策の目的</b> (目標とする宮城の姿)	意欲や興味に応じて学んだり交流したりすることができる環境づくりが進んでおり、多彩な生涯学習活動やその成果が個人の生きがいや地域づくりなどに生かされている。 県民の運動実施率が向上し、地域のだれもが年齢・関心・技術に応じてスポーツに親しんでいる。競技スポーツでは、全国や世界で活躍する選手を輩出している。 郷土の伝統的な文化芸術が県民の共通財産として保存・継承や活用がなされるとともに、子どものころから一人ひとりの創造性をはくむ環境づくりが進み、県民が文化芸術を通して地域づくりや様々な交流を行っている。	
<b>その実現のために行う施策の方向</b>	生涯学習社会の環境づくりに向けた取組の充実と学習機関や文化芸術等多様な分野における関係団体とのネットワーク化などによる県民の自主的な学習活動の支援 みやぎ県民大学の実施など、社会の要請する学習機会の確保に向けた取組や、地域の多様な生涯学習活動を支援する指導者などの育成 総合型地域スポーツクラブの育成・支援など、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりの推進 競技スポーツにおける生徒から学生、社会人までの一貫指導体制の確立や指導者育成策の拡充、競技力向上に向けた環境の充実 県民が文化芸術に触れる機会の充実などによる文化芸術活動の振興 地域文化の継承・振興に向けた取組の支援と文化財の保存・活用の推進 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の推進 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と関係機関とのネットワーク構築	

事業費 (単位:千円)	年度	平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算(見込)額)
	県事業費	302,972	262,413	256,797

**施策に関する社会経済情勢等の状況** (全国・本県の状況、法令・条例・計画等策定の状況等について)

・経済の発展に加え、科学技術の高度化、情報化、少子高齢化などの進捗を背景として、人々は物質的な豊かさに加え、精神的な面での豊かさを求め、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図ることを求めている。

・このような中、自己の充実・啓発や生活の向上のため、生涯にわたって、あらゆる機会・場所において学習することができ、また、その成果を生かすことのできる社会 - 生涯学習社会 - の実現が強く求められている。

また、生涯にわたって、年齢・関心・技術に応じ、様々な形でスポーツに親しみ充実したスポーツライフを送れる県民総スポーツ社会の実現が求められている。

さらに、豊かな感性や創造性を育み、精神的な豊かさを生み出す文化芸術活動に対するニーズは今後とも更に高まっていくものと考えられる。

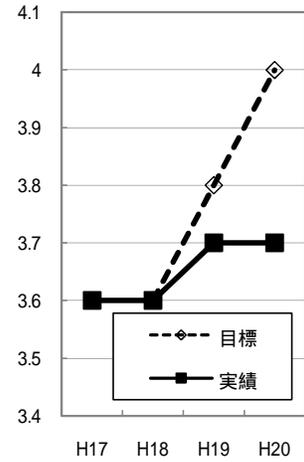
**県民意識調査結果**

調査実施年度 (調査名称)		平成19年度 (平成20年県民意識調査)		平成20年度 (平成21年県民意識調査)	
この施策に対する重視度	重要	13.8%	51.7%	14.0%	52.5%
	やや重要	37.9%		38.5%	
	あまり重要ではない		22.2%	20.1%	
	重要ではない		4.7%	5.7%	
	わからない		21.4%	21.7%	
調査回答者数		1,701		1,813	
この施策に対する満足度	満足	4.1%	32.8%	4.6%	32.0%
	やや満足	28.7%		27.4%	
	やや不満		18.8%	17.1%	
	不満		5.3%	6.2%	
	わからない		43.1%	44.6%	
調査回答者数		1,686		1,795	
調査結果について		・重視度については、「重視」の割合が5割超で推移しているものの、他の施策と比較すると総じて低いことがうかがえる。 ・満足度については、「満足」の割合が概ね3割で推移しており、この割合を向上させていくとともに、「わからない」と回答した割合が4割以上あることから、事業の周知をこれまで以上に進める必要があると考える。 ・優先すべき項目としては、「生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり」が男女、年代を問わず高い割合を占めていることから、今後も引き続き対応する事業に取り組んでいく必要がある。			

目標指標等の状況

目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」  
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」  
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」  
 N:「現状値が把握できず、判定できない」

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
1 公立図書館における県民一人当たりの図書資料貸出数(単位:冊)	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
	目標値(a)	-	3.6	3.8	4.0
	実績値(b)	3.6	3.6	3.7	3.7
	達成(進捗率)(b)/(a)	-	100%	97%	93%
県民1人が県図書館をはじめとする公立図書館で一年間に借りる図書資料数 出典:県内読書施設の現状調査	達成度	-	A	B	B

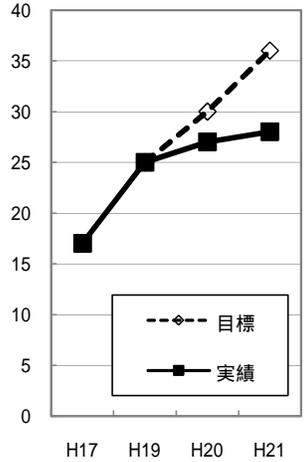


**目標値の設定根拠**  
 ・近年の県民一人当たりの公立図書館における図書資料貸出数に関する実績や傾向を踏まえた上で、各年度毎0.2冊の増加を見込み設定した。(平成21年度の目標値は4.2冊と設定している)

**実績値の分析**  
 ・目標には達していないが、生涯学習の中核的施設として、引き続き県民のニーズに応えるべく、図書資料や学習情報を提供していくとともに、市町村図書館等への支援・協力を実施していく。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 -

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
2 総合型地域スポーツクラブの創設数(単位:クラブ)	指標測定年度	H17	H19	H20	H21
	目標値(a)	-	25	30	36
	実績値(b)	17	25	27	28
	達成(進捗率)(b)/(a)	-	100%	90%	78%
県内全市町村に1箇所以上の創設を目標としている。	達成度	-	A	B	B

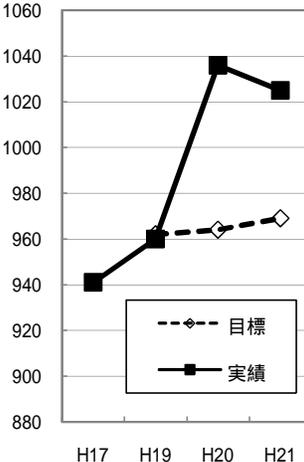


**目標値の設定根拠**  
 ・平成14年度に策定した「宮城県スポーツ振興基本計画」で目標に掲げている「県内全市町村に1箇所以上の設置」を目標値としている。(本計画では合併前の旧市町村に1箇所以上の創設を目標に掲げたが、その後、市町村の合併があったことから、当面、現市町村数に目標値を修正した。この目標値が達成された段階で旧市町村毎の設置に努めることとする。)

**実績値の分析**  
 ・市町村等の巡回指導を計画的に実施し、1クラブの設立に繋げることができたが、目標とした6クラブの設立には至らなかった。現在設立準備中のクラブが6箇所あることから、今後とも県及び広域スポーツセンターが協力して事業を推進する。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 ・平成21年7月1日現在、全国1,798市区町村中1,167市区町村で創設済み(64.9%:文部科学省調査)  
 宮城県:35市町村中15市町村で創設済み(42.8%)

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
3 みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(単位:千人)	指標測定年度	H17	H19	H20	H21
	目標値(a)	-	962(37)	964(38)	969(39)
	実績値(b)	941(38)	960(35)	1036(23)	1025(23)
	達成(進捗率)(b)/(a)	-	100%	107%	106%
みやぎ県民文化創造の祭典の主催事業・共催事業・協賛事業に係る総参加者数(うち出品者・出演者等の数)	達成度	-	B	A	A



**目標値の設定根拠**  
 ・主催事業は、平成22年度には小・中学生のワークショップ等の体験率を2.04%とすることを目標に参加者数の目標値を計算した。共催事業は会場となる県施設の収容能力を勘案して、また、協賛事業は過去の推移を勘案して計算した結果、総参加者数の目標値は表のとおりとなった。出品者・出演者等数については、参加者数の伸びを考慮して設定した。

**実績値の分析**  
 ・平成21年度は、共催・協賛事業も含めた総参加者数は前年度より減少しているものの、国の事業の導入等により主催事業の参加者数は大幅に増加しており、全体として目標値を大きく上回っている。なお出品者数・出演者数については目標値に達していないが、これは協賛事業等の出演者数が減ったこと等によるものである。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 -

**施策評価(総括)**

施策の成果(進捗状況)	評価	評価の理由
<p>・目標指標等、県民意識調査結果、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたか(「目標とする宮城の姿」に近づいているか)。</p>	<p><b>概ね順調</b></p>	<p>・3つの目標指標等の現状は、目標を達成しているもの1つ、達成していないが目指すべき方向に推移しているもの2つとなっている。</p> <p>・県民意識調査からは、施策に対する満足度や事業の周知度が低いことがわかれ、これまで以上の事業の推進と周知が必要と考える。</p> <p>・情報化、少子高齢化の進展などによる社会経済情勢からは、多様なニーズに対応した学習機会の提供、スポーツに親しめる環境づくり、文化芸術活動に対するニーズは高まっていくと考える。</p> <p>・生涯学習の推進の面では、みやぎ県民大学推進事業において、大学・高等学校・社会教育施設の開放講座及び市町村やNPO等との連携協力による各種講座の実施を通じて、学習機会の確保と提供をすることができた。</p> <p>また、スポーツの振興の面では、スポーツ選手強化対策事業の実施等を通じて、国民体育大会の総合成績で過去3年間ともに10位台を維持することができた。</p> <p>さらに、文化芸術の振興の面では、みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)事業において、少人数体験型事業(ワークショップ等)の参加者数が増加傾向にあるほか、多くの県民に身近に芸術文化に触れる機会としてイベント集客型の事業も導入し、いずれも一定の成果が得られている。</p> <p>・以上のことから、本施策の進捗状況は概ね順調に進んでいると判断する。</p>

**施策を推進する上での課題等と対応方針**

事業構成について	事業構成の方向性	方向性の理由
<p>・施策評価の結果、県民意識調査結果、社会経済情勢及び事業の分析結果(必要性・有効性・効率性)から見て、施策の目的を達成するために必要な事業が設定されているか、事業構成を見直す必要はないか。</p>	<p><b>現在のまま継続</b></p>	<p>・施策の進捗状況は概ね順調で、今後も高齢社会の進展など取り巻く社会情勢を踏まえれば、生涯学習活動やスポーツ、文化芸術活動などへの住民の多様なニーズに応えることのできる環境整備により努めていく必要があることから、施策目的達成のために現在の事業構成を継続して展開していく。</p> <p>また、県民意識調査結果からは、「スポーツに親しめる環境づくり」の分野において優先すべきとする割合が高いので、今後も引き続き対応する事業に取り組んでいく必要がある。</p>

**施策を推進する上での課題等** 施策が直面する課題や改善が必要な事項等(の事業構成に関する事項を除く。)

・限られた予算でいかに効果的に県民のニーズに対応し、サービス向上を図るか、また、各分野において、いかに各年代のニーズに対応できるようなサービスを提供するかが課題と考える。

・県民意識調査結果からは、この施策に対する重視度においては、「重視」の割合が概ね5割で推移しており、他の施策と比較すると総じて低く、また、満足度においては、「満足」の割合が概ね3割と低く、「わからない」と回答した割合が4割以上もあることなどから、今後、より一層の事業の推進と周知に努める必要があると考える。

**次年度の対応方針** 次年度(平成23年度)における 及び への対応方針

・県民意識調査結果からは、本施策に対する「重視度」及び「満足度」とも総じて低いことが伺えるが、生涯にわたる学習・スポーツ・文化活動の推進を図るため、関連事業の質的な向上に努めていくとともに、県民の関心を高めるため、これまで以上に、県の広報媒体等を活用し、積極的にPRしていく。

・生涯学習の振興の面では、生涯学習関連講座については、ニーズに対応した講座を開設するため、講座内容の見直しなどを行い、より良い学習機会の提供に努める。また、講座開催の周知についても工夫しながら、より一層の受講機会の拡大に努める。

・スポーツの振興の面では、総合型地域スポーツクラブの育成・支援については、県及び広域スポーツセンターによる巡回訪問を実施し、事業の啓発と取組への指導に努める。また、スポーツ選手強化対策事業においては、成績が下降傾向にある競技団体等に対して、団体ごとの強化計画等の見直しを行い、巡回賞励を実施するなど、引き続き競技力の維持・向上に努める。

・文化芸術の振興の面では、「みやぎ県民文化創造の祭典」については、市町村・関係団体との連携を更に強化し、体験型事業中心の取組に加えてイベント型事業等により実施成果のPRなども積極的に行いながら、文化芸術振興の取組への参加を拡大していく。また、地域文化の継承においては、貴重な文化遺産の保存管理を図りつつ、各地域の特徴を活かした地域の文化資源としての活用にも努める。

**施策を構成する事業の状況**

(事業分析シートより)

事業の状況					事業の分析結果			次年度の方向性		
番号	名称 (担当部局・課室名)	事業費 (決算見込、 単位:千円)	活動の状況 (活動指標)	成果の状況 (成果指標)	必要性	有効性	効率性			
1	図書館市町村支援事業	52,325	県図書館から県内市町村図書館等に対する年間協力貸出数	24,630冊	県内公立図書館における県民1人当たり図書資料貸出数	3.7冊	妥当	ある程度成果があった	効率的	維持
	教育庁・生涯学習課									
2	みやぎ県民大学推進事業	4,092	みやぎ県民大学講座数	64講座	みやぎ県民大学受講者数	2,101人	妥当	成果があった	効率的	維持
	教育庁・生涯学習課									
3	広域スポーツセンター事業	13,482	専門指導員等派遣回数	48回	総合型地域スポーツクラブ創設数	28クラブ	妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持
	教育庁・スポーツ健康課									

施策を構成する事業の状況

(事業分析シートより)

事業の状況					事業の分析結果			次年度の 方向性	
番号	名称 (担当部局・課室名)	県事業費 (決算見込、 単位：千円)	活動の状況 (活動指標)	成果の状況 (成果指標)	必要性	有効性	効率性		
4	スポーツ選手強化対策 事業	146,226	各競技団体 毎に行う合 宿等	415回	国民体育大 会総合成績 10位台	妥当	成果があった	効率的	維持
	教育庁・スポーツ健康課								
5	みやぎの文化力育成支 援事業	6,631	芸術鑑賞機 会開催回数	28回	芸術鑑賞会 参加人数	妥当	成果があった	効率的	維持
	教育庁・生涯学習課								
6	図書館貴重資料保存 修復事業	2,066	修復等実施 した貴重資 料数(点/ 年)及び貴 重資料等の 移動展示会 開催数(回/ 年)	7(2点・5 回)	修復等実施 した貴重資 料数(累計; 点)及び貴 重資料等の 移動展示会 開催数(回/ 年)	妥当	ある程度 成果があった	効率的	維持
	教育庁・生涯学習課								
7	瑞巖寺修理補助事業	17,775	-	-	-	妥当	成果があった	効率的	維持
	教育庁・文化財保護課								
8	みやぎ県民文化創造の 祭典(芸術銀河)開催 事業	10,500	主催事業会 場数	179会場	みやぎ県民 文化創造の 祭典参加者 数(うち出品 者・出演者 等の数)	概ね妥当	成果があった	効率的	維持
	環境生活部・消費生活・文化課								
9	美術館教育普及事業	3,700	教育普及活 動事業数	13回	教育普及事 業参加者数	妥当	成果があった	効率的	拡充
	教育庁・生涯学習課								
事業費合計		256,797							